

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 言論責任保証協会

1. 事業の成果

(1) 言論責任保証事業

令和5年度は新規申し込みがなかった。

(2) 言論に関する調査研究事業

新型コロナウイルスの起源に関する調査を継続して行った。

(3) 言論に関する情報公開事業

令和5年4月25日に「新型コロナ3年間の無責任言論を総括する」と題するオンライン講演を行った。令和5年9月27日にTKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口ホール5Aで講演会『生命科学の倫理問題 「新型コロナウイルスの起源と研究者の責任」』を開催した。令和5年11月29日に入谷ホールにて、田中・宮沢論文のフォローアップ研究と、西浦論文の問題点を解説するセミナーを開催した。そのほか、通年でYouTubeチャンネルおよびX（旧 Twitter）で情報発信を行った。

2. 事業の実施に関する事業

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
言論責任保証事業	言論責任保証制度を利用した各種言論の一部を預託金として預かり、適切な評価時期に受け付ける評価をもとに預託金の返還を行う。	年度を通して	インターネット上	1名	言論の読者・視聴者全員	0千円
言論に関する調査研究事業	新型コロナウイルスの起源に関する調査	年度を通して	筑波大学	3名	広く一般市民	0千円
言論に関する情報公開事業	オンライン講演会 対面講演会 対面セミナー SNSでの情報発信	4月25日, 9月27日 11月29日 通年	オンライン 仙台 東京 オンライン	1名	講演参加者、ネットユーザーほか	40千円

(2) その他の事業 ナシ